

地域がより主体的に公共交通を維持・充実する取組の推進

【担当省庁】国土交通省

県内公共交通の維持・充実に向けた取組

○地域公共交通の維持確保に向けて、**予算等の継続的な支援をいただき感謝。**



○自動運転バスの実証運行の実施に向けて、令和6年度、以下による**支援をいただき、心より感謝。**

- ・自動運転社会実装推進事業の事業採択(国土交通省自動車局)
- ・路車協調システム実証実験の事業採択(国土交通省道路局)

○奈良県では、「**奈良県公共交通基本計画**」(H28策定、R4改定)に基づき、地域公共交通の維持・充実に向けた取組に積極的に参画。

○計画では、以下を政策の柱として位置付け、**市町村、交通事業者、住民等の関係者が連携・協働し、地域に最適な交通体系づくり**を目指す。

<具体の取組事例>

県内公共交通の維持・充実に向けた取組

○県内幹線バス路線毎に、「利用者数」、「平均乗車密度」、「最大乗車人員」、「収支率」、「利用者1人あたり行政負担」の客観指標を用いた「**バスカルテ**」を作成、『診断』。

○**地域の関係者間で改善策を議論・実践**し、定期的に検証。

○これら路線に対し、国のサバイバル補助を頂きつつ、県・市町村でも支援を実施。 ▶県の運行費補助額(令和6年度運行分: 2億円強)



路線バス「八木新宮線」

公共交通に関わる空間の質向上

○鉄道駅への**エレベーター設置工事等、バリアフリー化**を推進。

▶県内対象駅の段差解消率89.1% (令和6年度末)

○バス停の上屋整備等、**快適な利用環境整備**を推進



白毫寺バス停上屋整備

公共交通を担う人材の確保・育成

○公共交通の維持に不可欠なバスやタクシーの運転手が不足する状況を踏まえ、交通事業者・市町村・学校等と連携した**運転手等の人材確保の取組**を推進。

公共交通分野における環境負荷の低減

○脱炭素社会に向けた取組の一環として、**県内バス路線のEVバス導入**を推進。 ▶EVバス車両3台の導入を支援(令和6年度)



EVバス車両

持続可能な公共交通体系の構築

課題

- 乗合バス・鉄軌道路線の減便・廃止や行政負担の増加により、公共交通の持続確保が危機的状況
- 持続可能な公共交通体系を構築する上で、担い手不足が深刻。
 - ・運転者の高齢化等により離職が相次ぎ、公共交通の担い手となるドライバーの確保が喫緊の課題。

要望

○公共交通の担い手確保に向けた取組の推進

(例) ・二種免許取得に係る経費等に対する補助の強化 等

○公共ライドシェアの運営に対する継続的な支援

令和6年度、奈良県では、デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプTYPES)(内閣府)を活用し、宇陀市において住民のマイカーを活用した公共ライドシェアの取組事例を組成。

本年度は、国土交通省の「交通空白」解消本部の取組も踏まえ、宇陀市における公共ライドシェアの取組を隣接する市町村へ拡大し、複数市町村が連携して取り組む、公共ライドシェアの導入事例を組成予定。これを踏まえ、以下を要望。

- マイカードライバーを活用して運営される公共ライドシェアに対する継続的な財政支援の充実
- ドライバーの継続的な確保にむけて、大臣認定講習の受講機会の充実、また、安全安心な運行にむけた研修内容の強化

○自動運転実装に向けた取組の加速

・本年度、奈良県では宇陀市、明日香村において実証走行を予定

【明日香村の例 (R6冬実施内容)】

・鉄道駅と観光・文化施設を結ぶ
自動運転車両の実証走行



国にお願いすること

- ・ **公共交通の担い手確保に向けた取組の強化**をお願いしたい。
- ・ **公共ライドシェアの運営に対する継続的な支援**をお願いしたい。
- ・ 無人自動運転移動サービスの実装に向けた本県の取組みが、国の掲げる「2025年度を目処に50箇所(で実現)」に含まれていくよう、引き続き**実証運行に係る補助の採択や技術的助言等、ご支援**をお願いしたい。

【県担当部局】 県土マネジメント部 リニア・地域交通課